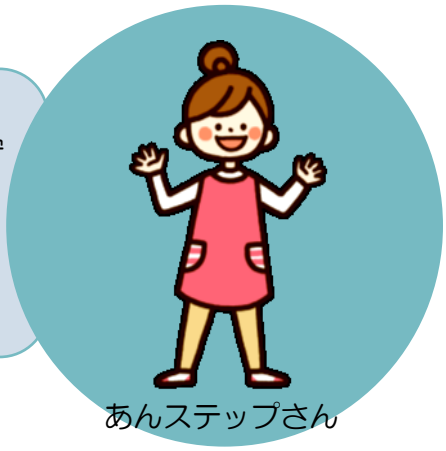
１歳半頃からの声かけのコツ
～あんステップさんに聞いてみよう～

うちの子、言葉がゆっくりだから、「たくさん声かけして」って言われたけど、具体的にどうやったらいいの？
話しかけているけど、いまいち反応がないかも

こどもの発達は個人差があります。その子らしさを見つけ、温かく見守りましょう。
声かけのヒント載せますので、できるところからやってみてください。
「声かけ」のコツを掴んで、子育てを楽しみましょう。



できるところからやってみましょう

1　こどもの注意をしっかり引いてから声をかけましょう

①こどもの視界に入る。

②しゃがむ、抱っこするなどして、目線を合わせる。

③体に触れたり、手をにぎったりして、こどもの注意を親の方に向ける。

2　目に見える手がかりを使ってみましょう

①実物や写真を見せる

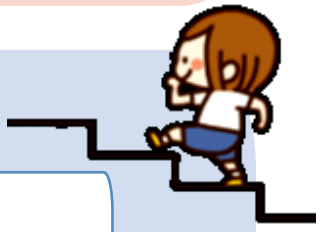
例　上着を見せて「外に行くよ」
「これを着たら外へ行ける」という見通しがつく。

例　公園の写真（携帯で撮影）を見せて「公園に行くよ」
ここは「こうえん」という名前だと分かりやすい。

②言葉に身振り手振りを添える

例　「手をあらうよ」と言いながら、手をこする
身振りをする。

例　「ごみ捨てて」と言いながら、ごみ箱を指す。
ここに捨てると分かる。動きを見て、動作とその言葉がつながりやすい。



3　言葉を選んで声かけしてみましょう

①ポジティブな表現で伝える

例　「走り回らない」　→　「椅子に座るよ」
「歩くよ」

例　「お茶をこぼさないで」→「コップをぎゅっと持つよ」
「お茶を見て飲むよ」
どんな行動をすればいいか具体的に分かりやすい。
叱られた感じにならない。

②具体的に伝える

例　「きちんと片づけてね」→「おもちゃはこの箱に入れてね」

例　「そこに座って」　→「この椅子に座って」
あいまいな表現では理解しにくい時がある。

③短く伝える

例　「急いでいるから、早くくつはいて」　→　「くつはくよ」

例　「手を洗ってからおやつを食べるよ」
→　「手を洗おう」「おやつを食べるよ」
長い文章だと、今何をするか分からない時がある。

こんなときはご相談ください

・音への反応はあるが、名前を呼んでも振りかえることが少なく、マイペース。
・大人の言っていることがほとんど理解できていない気がする

…など

３歳児健診前のお子さんは保健センター（TEL：76-1133）

３歳児健診後のお子さんはあんステップ（TEL：77-7796）へご相談ください

＜参考資料＞　発達障害情報・支援センター
「１歳半～２歳半の子どもを持つ保護者の方へ　声かけのコツ」
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所　児童思春期精神研究部

安城市こども発達支援センター　あんステップ♬
開館　月～土（祝日・年末年始を除く）　８：30～17：15
〒446-0043　安城市城南町２丁目１０番地３
電話：　0566-77-7796　ＦＡＸ：0566-77-7785